

交通安全

高速道路の安全・安心を、最優先に

24時間体制で道路の安全と円滑な交通を守る

交通管理隊は、24時間体制で巡回を行い、道路状況、交通状況及び気象状況等の情報を収集するとともに、交通事故・故障車・路上障害物等、様々な異常事象の早期発見に努め、各事象の緊急対応を行っています。

道路管制センターでは、交通管理隊の巡回や、非常電話、道路緊急ダイヤル(#9910)、監視カメラ、気象観測装置等から、交通事故や渋滞、異常気象等の情報を24時間体制で収集しています。収集した情報をもとに、情報板等を通じてお客さまへの情報提供を行い、事故等が発生した場合には、交通管理隊や警察、消防、レッカー業者等との連絡調整を行う等、現場と一丸となって、常に交通の安全確保に努めています。



高速道路走行中に落下物等の道路異常を発見した際は、道路緊急ダイヤル #9910へ



交通管理隊員等が「高速道路の安全守り隊」と題してYouTubeでメッセージを配信中

ステークホルダーとともに築く交通安全

お客さまに安全・安心に高速道路をご利用いただくため、重大交通事故の削減と走行環境の改善につながる「ハード対策」とともに、交通安全キャンペーンや安全啓発リーフレットの提供、ポスターの掲出等、安全啓発活動である「ソフト対策」も重要な施策として取り組んでいます。



(上) 春の交通安全キャンペーンにおける「人の波作戦」(徳島道 鳴門料金所)

(下) 沿線の幼稚園で交通安全祈願の七夕飾りを制作し、高松道 府中湖PA (下) にて展示



SNDプロジェクト

—交通事故をゼロにするための危険運転撲滅プロジェクト—

当社と阪神高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)、(株)エフエム大阪の4社共同で、高速道路での交通事故につながる「ながら運転」による危険運転を撲滅し、交通事故ゼロを目指すべく、「STOP! NAGARA DRIVING PROJECT (通称SNDプロジェクト)」を推進しています。



SNDプロジェクトでは、ともに行動・応援していただけるサポーターを募集しています。「ながら運転」撲滅へのメッセージとサポーター登録はこちら



「Heart to Heart 伝えよう! 届けよう!」冬のSNDメッセージキャンペーン

「ながら運転」撲滅に対するメッセージを公募するキャンペーンを開催し、2022年2月にグランプリが決定しました。



テーマ: **イライラしながら運転**
グランプリ作品

あなたの帰りを待つ人がいるように、あの車にも、誰かの大切な人が乗っています。届けよう、いつもと変わらない「ただいま」を。

降雪時の交通確保に向けて

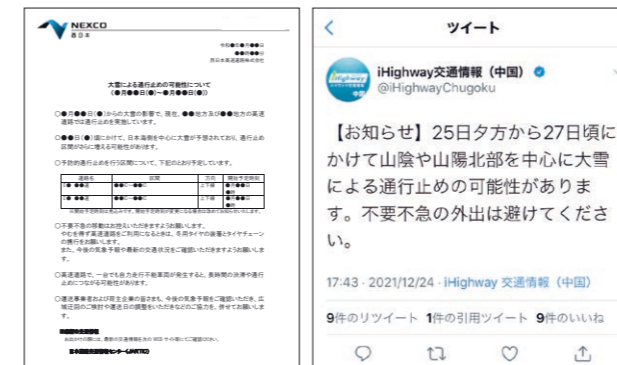
昨今の降雪による大規模な車両滞留の発生を踏まえ、冬期の交通確保のための方針を見直しました。

予防的通行止めの実施

車両の滞留が予測される場合や「大雪に関する緊急発表」が出された場合には、気象予測に応じて予防的通行止めを行い、集中除雪を実施します。

具体的には、通行止めになるような大雪等が予測されている時間の3時間前に予防的通行止めの実施判断をし、ウェブサイトやiHighway等で直ちにお知らせを行います。

併せて、除雪車や凍結防止剤散布車等の車両を応援派遣する等、当社グループ総動員で体制を強化し、交通確保を行います。



予防的通行止め時の広報イメージ (ウェブサイトでのお知らせ、iHighway(Twitter))

冬用タイヤAI判定技術

グループ会社の西日本高速道路エンジニアリング四国(株)が開発した、AIの画像解析による走行車両のタイヤ自動判別システムの活用により、冬用タイヤチェックに要する時間を短縮し、お客さまの待ち時間削減に努めています。

道路名	実施予定箇所
舞鶴若狭道	福知山IC
中国道	安佐SA(上)(大阪方面)
米子道	米子IC
山陰道	松江玉造IC
山陽道	広島IC、西条IC
高知道	法皇トンネル北坑口(高知方面)
大分道	狭間バスストップ(上)(北九州方面)

従来

「自らが管理する道路を出来るだけ通行止めしないこと」
「出来るだけ通行止めせず高速道路と並行する国道等を交互に通行止めし道路ネットワークを確保すること」

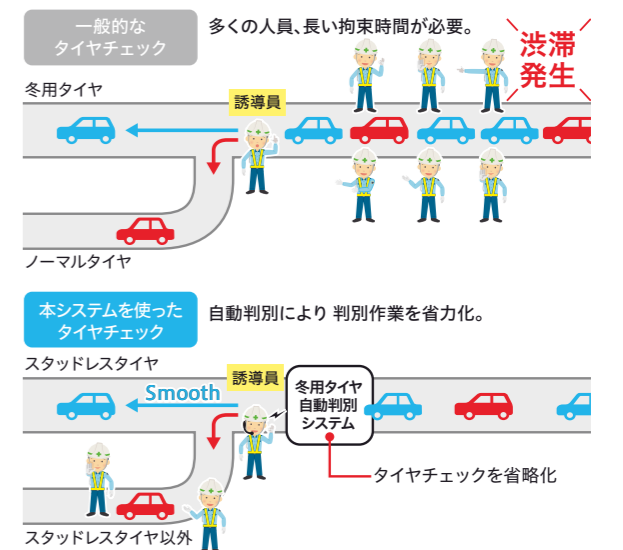
現在

「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」

※「大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ」令和3年3月改訂 (冬期道路交通確保対策検討委員会)



降雪時の道路交通情報は、NEXCO西日本ウェブサイトまたはiHighwayをご確認ください (QRコードはP.29)



渋滞対策

お客さまの快適な走行と交通安全のため、ハード面・ソフト面の両方から、渋滞対策を実施しています。

ハード対策

1. ネットワークの強化 (P.23-28)
2. 車線拡幅 (P.25-27)
3. 車線運用の変更
4. ETC利用率向上による渋滞の緩和

ソフト対策

1. 渋滞予測ガイド・テレビ・ラジオ等による広報
2. LED標識等による速度低下等の注意喚起

工事渋滞対策としては、交通量が比較的少ない時期や、渋滞が起りにくい時間帯・曜日を選定し、工事を1~2週間程度の短期間に集約する「集中工事方式」とすることで、工事規制に伴う渋滞の発生を抑えるよう努めています。

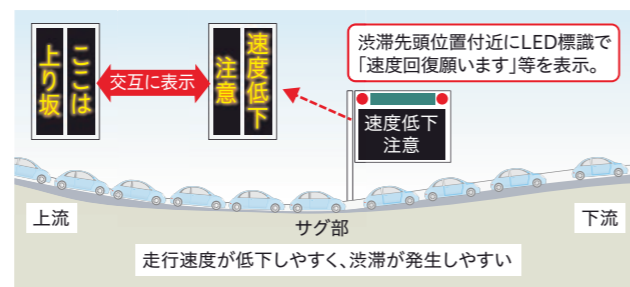
また、高速道路リニューアルプロジェクトに伴う工事渋滞については、特設サイトやニュースリリースにて渋滞予測情報を公開しています。



ハード対策例



ソフト対策例



逆走対策

高速道路での逆走は、死亡事故等の重大な事故につながる可能性が高く、逆走車両のみならず、正しく走行している車両も巻き込まれる極めて危険な行為です。これまでも様々な対策を進めてきましたが、高齢化の進展や認知症問題の顕在化といった社会状況のもと、高速道路での逆走事故の撲滅には至っていないのが現状です。

当社では、「2029年までに逆走による重大事故ゼロ」を目指し、効果的な対策を見定め、高速道路での逆走事故の撲滅に取り組んでいます。

無くそう 逆走

逆走は命にかかわる危険行為です。

逆走しない、させない、事故にしない

逆走対策技術の公募

高速道路での更なる逆走事故削減を目指し、2016年から逆走対策技術の公募を行い、有効と認められる技術については実道で検証・現地展開を進めています。



公募により導入したLED発光体付ラバーボールウィングサイン。IC等の合流部で進行方向の案内を強化 (中国道 ひょうご東条IC)



誤進入や目的のICを行き過ぎたことによる故意の逆走も発生しています。進行方向等を誤った場合は、次のICで一般レーンに進み、係員にお申し出いただくと、一般道や目的のICへ戻ることが可能となる「特別転回」が可能です。特別転回周知看板(中国道 神戸JCT)



一般道接続部との接続箇所における逆走対策及び誤進入対策として、カラー舗装を実施 (中国道 夢前スマートIC)



正面衝突の防止

暫定2車線区間への区画柵の設置

—長大橋梁・トンネルへの試行設置を開始—

重大事故につながりやすい暫定2車線区間での正面衝突防止対策として、ラバーポールに替えて区画柵の設置・検証を行っています。

土工部、中小橋梁※1については、ワイヤロープを設置しており、2022年度内の概成を目指しています。

長大橋梁※2及びトンネルについては、2021年6月8日の「高速道路の正面衝突事故防止対策に関する技術検討委員会(第5回)」を踏まえ、当社管内では、以下のとおり、2021年11月にセンターパイプ、センターブロックを試行的に設置し、今後、有効性、適用性の検証を行い、引き続き交通安全対策に取り組んでいきます。

道路名	設置区間	設置箇所	区画柵
山陽道 宇部下関線	宇部JCT～宇部IC	奥堤橋	センターブロック
東九州道	中津IC～宇佐IC	今仁トンネル	センターパイプ

※1 中小橋梁:橋梁延長50m未満の橋梁 ※2 長大橋梁:橋梁延長50m以上の橋梁



(上) ワイヤロープ (中) センターブロック (下) センターパイプ

Voice

スムーズな進路選択ができる道路を目指して

IC・JCTの分合流部における渋滞や事故を防止し、お客さまに安全・安心・快適に走行していただくためには、スムーズに進路選択していただける道路を目指す必要があります。交通の流れは様々な要因で変化するため、渋滞や事故の傾向も変化していきます。そのため、当社では、状況に応じた対策を行っています。

カラー舗装による案内強化

交通量が増加し、渋滞が課題となっていた新名神高速道路 草津JCT(下り線)の渋滞対策として、2021年度に改良工事を実施しました。交通集中緩和のための「車線運用の変更」と併せて、お客さまにスムーズに進路選択していただけるよう「カラー舗装の新設」「案内標識の変更・追加」を行い、方面案内を強化しました。カラー舗装には青色とオレンジ色を採用することで、明確で分かりやすく、かつ、色覚異常の方にも配慮した色調としました。また、車輪の通らない車線の中央部のみ舗装することで、維持管理を効率化し、永く・安全に走行していただけるよう工夫しました。

フルLED図形情報板による経路選択支援

近畿圏では、中国道リニューアルプロジェクトにより終日通行止め等の大規模な交通規制を計画的に実施しています(詳細はP.16)。そこで、お客さまの経路選択支援のため、主要JCT付近にフルLED化した図形情報板を増設する等、情報提供を強化しています。

これからも、『お客さまの安全・安心』を最優先に、目的地まで迷うことなくスムーズで快適に走行していただける道路環境を目指して、事業を遂行していきます。

関西支社 保全サービス事業部 道路管制センター
交通計画課 課長代理 村上 貴行



カラー舗装



フルLED図形情報板 (通行止め中の区間を「×」で表示)